

**ステンレスユニットシェルフ用  
高さ調整金具(4個セット)****スチールユニットシェルフ用  
高さ調整金具・グレー(4個セット)****スチールユニットシェルフ用  
高さ調整金具・ライトグレー  
(4個セット)****組立・取扱説明書**

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で正しく組み立て、正しくお使いください。また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

2020年6月18日

**重要なお知らせ(安全上のご注意)**

ここに示した警告・注意事項はお使いになる方や他の人への危険や損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。

**警告 死亡や重傷などに結びつくおそれがあるもの**

- |  |  |
|--|--|
|  | ●不要になった梱包材は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。口や鼻をふさぐなどしたときに窒息するおそれがあります。  |
|  | ●フィッティングパーツは小さな部品です。乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、紛失しないでください。誤飲した場合、窒息などのおそれがあります。                            |
|  | ●棚セット(※)もしくは追加用帆立(単品)に付属の組立・取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。組み立てた商品に対し、お使いになる上での注意が記載されており、ケガを防ぎ、安全にお使いいただく為に重要です。 |

\*スチールユニットシェルフシリーズ、スチールユニットシェルフシリーズの帆立、棚板、クロスバーがセットになった商品。

**注意 傷害を負う可能性や物的損害が生じるおそれがあるもの**

- |  |  |
|--|--|
|  | ●組み立てが不完全なまま使用しないでください。ケガの原因となるおそれがあります。                                     |
|  | ●本来の用途以外では使用しないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。                                       |
|  | ●修理および改造はしないでください。製品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。                                   |
|  | ●引っ越しなどで部屋や階をまたぐような移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。バーソがはずれて、ケガや商品が破損する原因となります。 |

**組立方法**

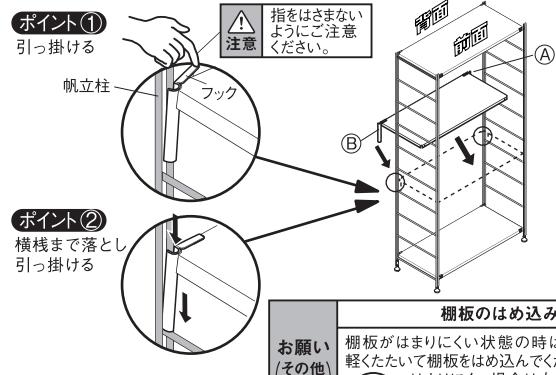
※この組立・取扱説明書は共通です。

※ユニットシェルフ全体の組み立て手順については、棚セットもしくは追加用帆立(単品)に付属の組立・取扱説明書をよく読み正しく組み立ててください。

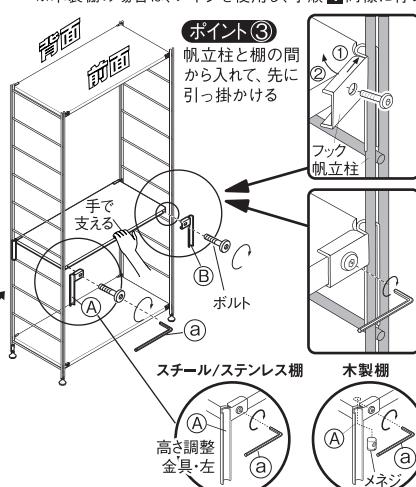
**1** 棚板の四隅に固定されているボルト、フックをそれぞれ④六角レンチで取りはずし、片側にだけ(背面側)④と⑤の高さ調整金具を取り付けます。

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
|  | ●高さ調整金具は左右があります。                |
|  | ●ゆるめに取り付けておいてください。              |
|  | ●取りはずしたフックは、無くさないよう大切に保管してください。 |

**2** 背面の④⑤高さ調整金具・左/右のフックを、帆立の帆立柱に引っ掛け(ポイント①)、帆立柱の横桟まで落とし、しっかりと引っ掛けます。(ポイント②)



**3** 棚板が外れないよう前側を支えます。  
前面に④⑤高さ調整金具・左/右フックを帆立柱と棚の間のすき間から入れて取り付けながら、フック部を先に帆立柱に引っ掛けからボルトで固定します。(ポイント③)  
手順**1**同様に④六角レンチでボルトをゆるめに締めておきます。  
※木製棚の場合は、メジを使用し、手順**1**同様に行います。

**お手入れ方法(つづき)**

●汚れがひどい時は、3~5%程度に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤をよくふき取ってください。次に乾いたやわらかい布で軽くふいた後で自然乾燥してください。

**お問い合わせ先**

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店、もしくは下記お客様室までご連絡ください。

**株式会社 良品計画**

〒170-8424  
東京都豊島区東池袋4-26-3

お客様室でんわ  
 0120-14-6404

してはいけない「禁止」  
の内容です。  
実行しなければならない内容です。

**お手入れ方法****保守・点検**

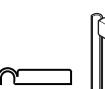
- 破損、変形した状態では使用しないでください。
- ねじ、金具類は、ゆるみやグラツキがないか定期的に点検し、ゆるみはじめたら、しっかりと締め直してください。ゆるんだままだと、ケガや本体の破損、床面のキズの原因となります。

**金属部のお手入れ**

- 通常のお手入れはやわらかい布で乾ぶきしてください。

**お願い(その他 注意)**

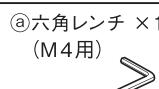
- 「追加棚・ステンレスワイヤー」・「追加棚・コーナータイプ」・「追加小棚・奥行き12cm」には取り付けできません。
- 1列に3セットまで高さ調整金具をご使用いただけます。(4セット以上は使用しないでください)
- 高さ調整金具を使用しない棚板も合わせてご使用ください。

**パーツリスト****Ⓐ 高さ調整金具・左 × 2**

※左前と右後に使用します

**Ⓑ 高さ調整金具・右 × 2**

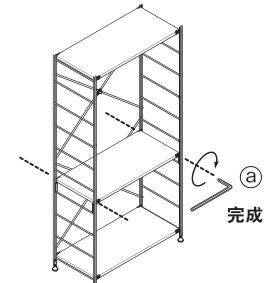
※右前と左後に使用します

**フィッティングパーツ**

④ 六角レンチ × 1 (M4用)

**4** ゆるめに取り付けたすべてのボルトを、④六角レンチでしっかりと締め付け、固定します。

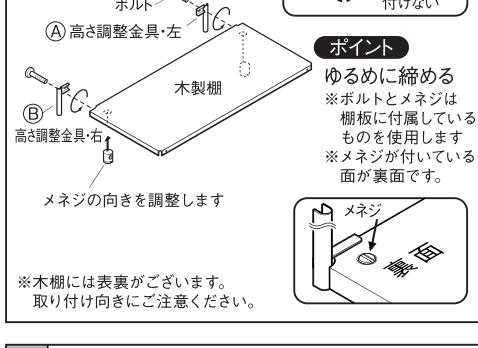
- |  |   |
|--|---|
|  | ●一箇所をきつと締めてしまうと、棚がゆがんで装着され、最後のフックが締めにくくなりますので、全体を調整しながら締めてください。 |
|  | ●必要に応じたクロスバーをご使用ください。   |

**スチール/ステンレス棚****ポイント**

ゆるめに締める  
※ボルトは棚板に付属しているものを使用します

**木製棚****ポイント**

ゆるめに締める  
※ボルトとメジは棚板に付属しているものを使用します  
※メジが付いている面が裏面です

**取り付け上のご注意****バックパネル/クロスバーの取り付け位置**

高さ調整金具が付いた場所には、バックパネル/クロスバーのボルトが固定できません。

※高さ調整金具と緩衝し、ボルトを差し込めないため。

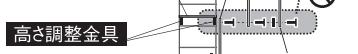
バックパネル/クロスバーの取り付け位置をずらしてご使用ください。

**高さ調整金具・設置の際のご注意**

ユニットシェルフ・ボックスと隣り合う位置に高さ調整金具は取り付けできません。

※イラストはイメージです

<組立例>  
高さ調整金具と緩衝し、取り付けられません

**高さ調整金具・ボックス**

取り付けられません

取り付けできます

